

# 雄勝地域

## 歴史の1コマ



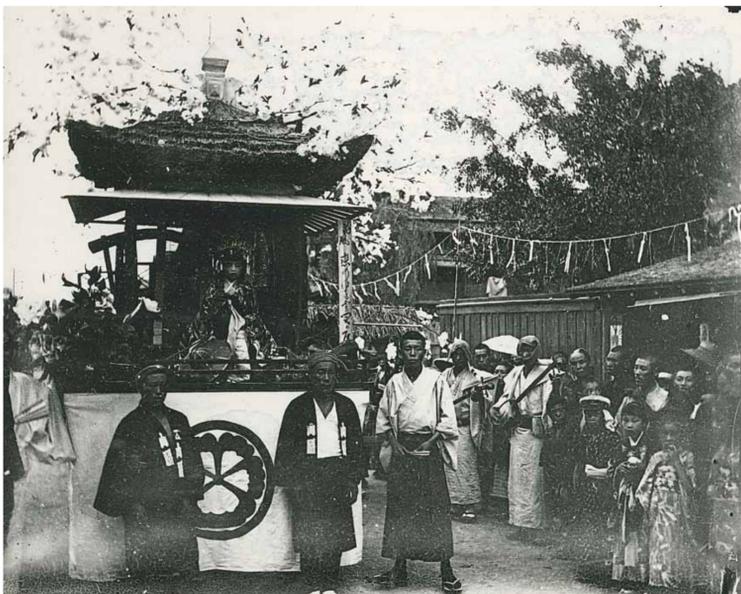
前森公園での相撲大会

御幣や注連縄があることから、祭典の際の奉納相撲と思われます。  
(湯沢市 大正時代年不詳)



湯沢の花柳界

『図説湯沢の歴史』(土田章彦著)には、「昭和の初めころ、料理屋が18軒、芸妓屋が11軒あり、大正時代に白系ロシア人の芸妓がいて評判だった」とあります。(湯沢市表町界限 大正時代年不詳)



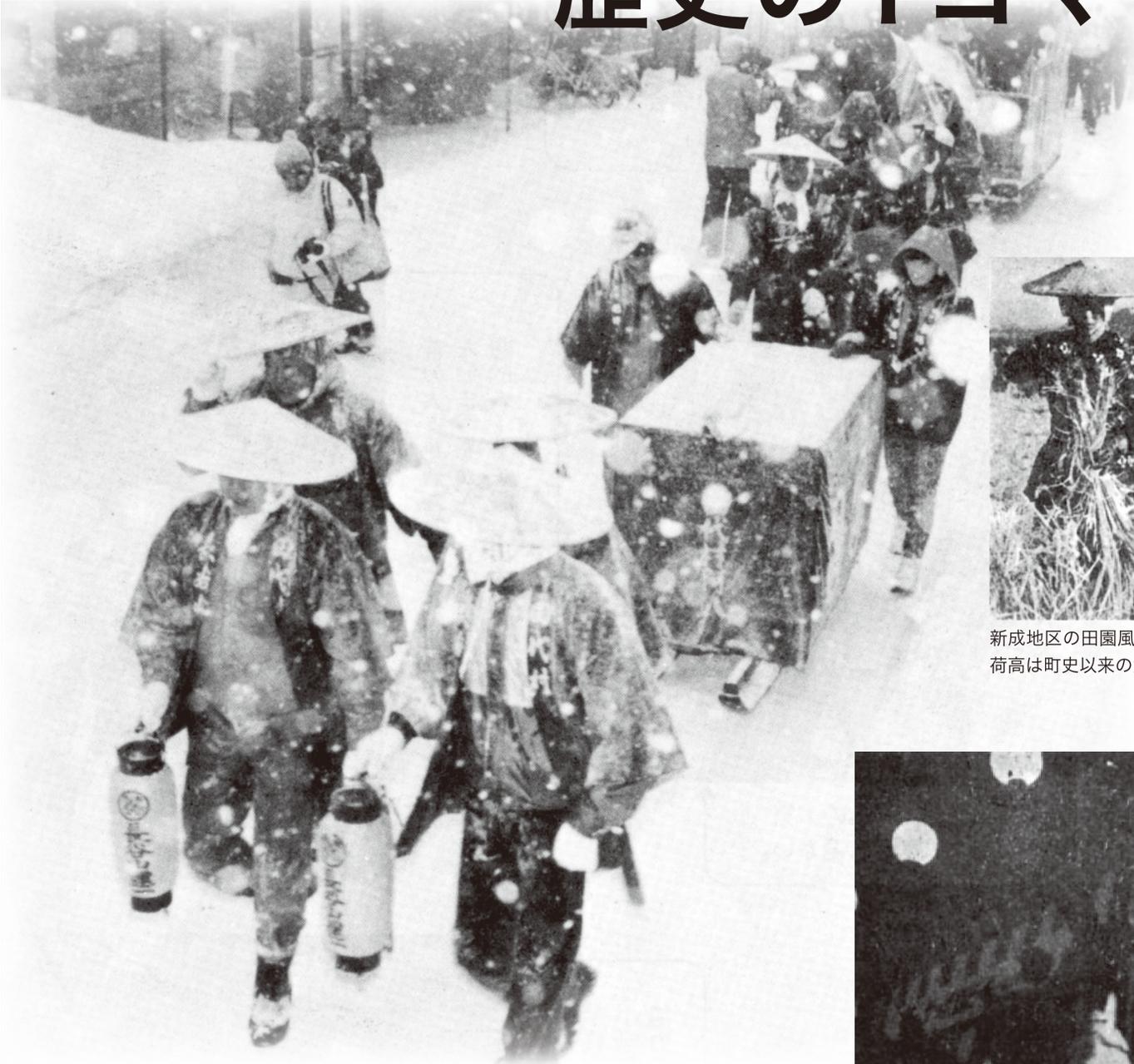
湯沢市の三大まつり 愛宕神社祭典「神渡行列並びに大名行列」  
(湯沢市 大正時代年不詳)



一般国道108号線開通式(湯沢市雄勝地域 昭和40年10月27日)

# 雄勝地域

## 歴史の1コマ

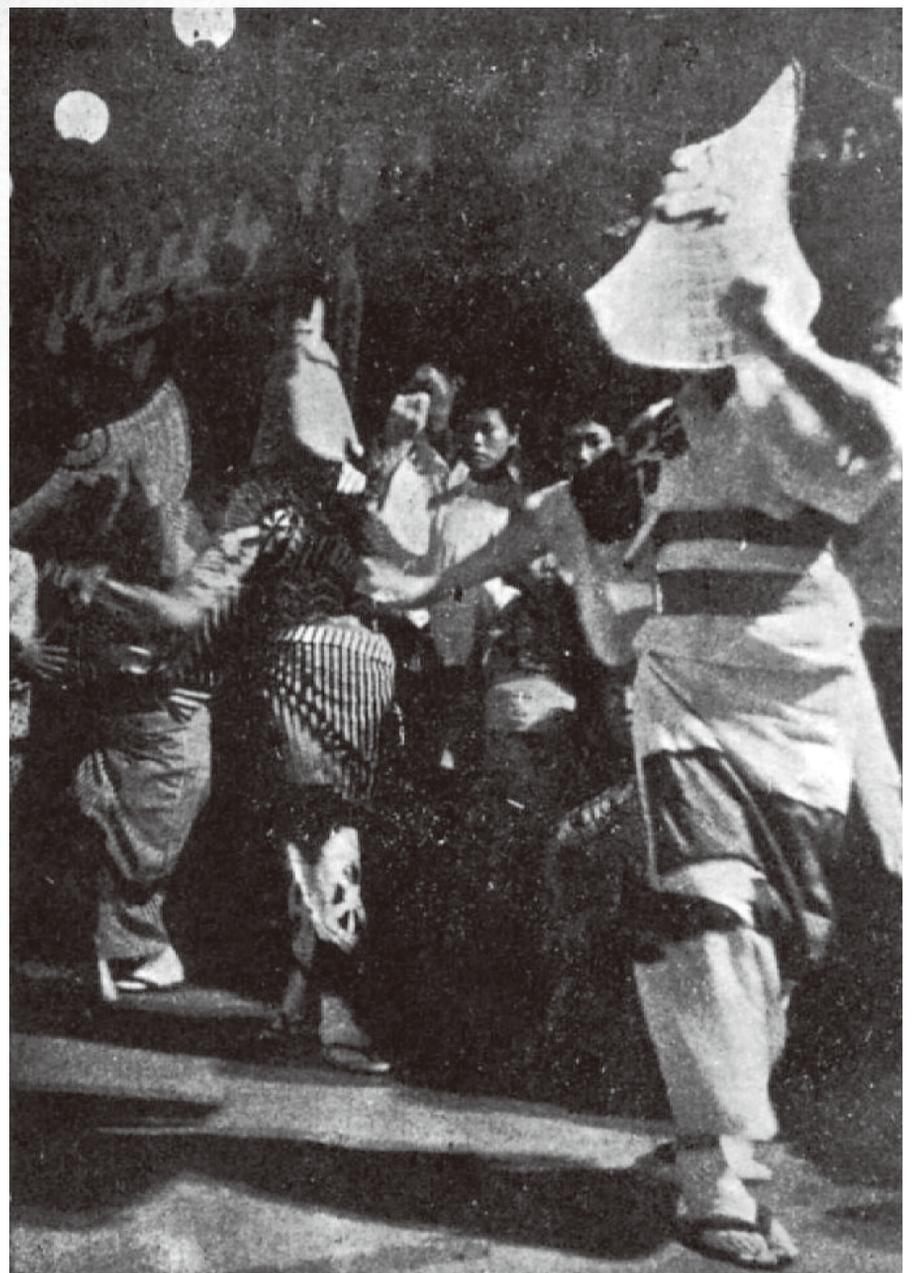


雪国の良さを見直す冬のイベントを創造しようと、町の若者たちが企画した「ゆきとびあ七曲」初開催の様子

馬ソリに花嫁を乗せた昔懐かしい花嫁道中が再現され、一目見ようと大勢の人々が沿道に繰り出しました。(羽後町 昭和61年)



新成地区の田園風景。農家の方々の努力と好天候に恵まれ、昭和42年の米出荷高は町史以来の大豊作であったと言われています。(羽後町 昭和42年)



西馬音内本町通りでの西馬音内盆踊りの様子

昭和39年には東京オリンピック芸術展示でも披露され、県内外からの観客で大いに賑わいました。(羽後町 昭和39年)



雄勝線との別れを駅のホームで惜しむ人々の様子

昭和3年の開通以来45年間、地域住民の交通手段として親しまれてきた雄勝線(西馬音内―湯沢間)。バスやマイカー普及に伴い、惜しまれつつも廃止されました。(羽後町 昭和48年)

# 雄勝地域

## 歴史の1コマ



**田子内橋**

昭和10年に当時の技術の粋を集めて完成した県内最古のコンクリートアーチ橋です。国登録有形文化財となっており、昭和11年二・二六事件で暗殺された時の内大臣齊藤寛(岩手県水沢市出身)が奥羽横断道路実現へ情熱を傾けた橋として有名です。(東成瀬村)



**第16回マス釣り大会**

昭和59年6月17日、真戸橋～岩ノ目橋間において、成瀬川漁協組合が主催する第16回マス釣り大会が開催されました。“ドーン”という花火の音を合図に、待ち構えていた釣り人が成瀬川へ一気に竿を振り込みました。(東成瀬村)



**県南選抜マーチングフェスティバル 村制100周年記念事業**

平成元年10月15日、さわやかな秋晴れに恵まれ、県警の音楽隊を含む10チーム(総勢600人以上)が東成瀬球場の1,000人を超える観衆を前に素晴らしい演奏と演技を披露してくれました。屋外で開催されたマーチングフェスティバルは県内では初の試みでした。(東成瀬村)